

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：都市整備課

シート No.：89-2

作成日：2026. 8/24

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的		事務事業の目標	
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	1 背景 現在市内では約 610 件の空き家が確認されており、未確認も含めた実態数は 1、000 件以上と予想されています。これらを放置すると、災害時のリスクが高くなったり、治安の悪化につながる恐れがあります。また、空き家の所有者は遠方に住んでいることが多いため、実際に空き家を管理することが難しく、今後どのように扱ったらいいのか悩んでいる場合があります。 2 目的 空き家の管理・削減と同時に空き家の利活用を促進することで、市民と移住者にとってより良い住環境の整備を進めます。	1 市の特性に応じた空き家の再生・活用を促進することが重要だと考えます。そのために、空き家をリノベーションし、シェアハウスやコミュニティスペースとして活用する事業を推進します。 2 空家等バンク制度を充実強化し、所有者と利用希望者のマッチングを行うことで、地域の住宅供給の充実を目指します。 3 管理活用支援法人の指定や活用促進区域を設定し、空き家の管理や維持に関する政策を推進するとともに、地域全体で空き家問題に取り組む体制を整備し、地域の活性化と住環境の向上を図ります。		
	施策	2 住宅・宅地				
	施策内容	空き家利活用の促進				
	その他、拠法令及び分野別計画等	市空家等対策計画（R5～R9）				
事務事業名		空き家対策事業				

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	空家等バンク物件登録 （R8・9・10）	空家等の情報をホームページ等で公開し、空き家を利用したい方へ情報提供する。	物件所有者（件）	4	5	0 千円	千円
②	空家等バンク利用登録 （R8・9・10）	利用登録を促し、住宅だけでなく、店舗や事務所、別荘、会社の寮やサテライトオフィスなど、さまざまな用途での活用に繋がります。	利用希望者（件）	5	5	0 千円	千円
③	空き家対策総合支援事業 （R8・9・10）	空家等バンクに登録された物件に対し、国の補助制度に上乗せした市独自の助成制度を創設し、流通の加速化を図ります。	実施件数（件）	2	2	2,000 千円	千円
④	空家等相談 （R8・9・10）	利用用途が明確に決まっていない物件所有者の有効な利活用したい利用登録者のマッチングを行います。	物件所有者または利用希望者（人）	50	50	0 千円	千円
⑤	空き家活用セミナーの参加 （R8・9・10）	先進事例を研究し、官民学金のノウハウを活用に繋がります。	セミナー数（回）	5	5	0 千円	千円
⑥	空き家所有者への DM 送付 （R8・9・10）	市の空き家データベースをもとに、利活用できる可能性が比較的高い物件所有者に対し、バンク利用のダイレクトメールを送付します。	物件所有者（通）	50	50	0 千円	千円
⑦	協定団体との連携事業 （R8・9・10）	協定団体である㈱On-COによる「さかさま不動産」との連携で、国の補助制度を活用し、利活用希望者と物件所有者をつなぐ「さかさマルシェ」を開催します。	開催数（回）	3	3	2,000 千円	千円
⑧	空家等管理活用支援法人による空き家の解消 （R8・9・10）	指定した支援法人と市で協力し、利活用により空き家の解消を図ります。	空き家解消数（件）	10	20	22 千円	千円
⑨	空家等活用促進区域の設定 （R8・9・10）	空家等の活用を通じて経済的社会的活動を促進するため、促進区域の設定に向けた計画を策定し、R10.4 に公表します。	設定への進捗（％）	50	90	千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度 目標値
						令和 9 年度
① ～ ⑧	空き家問題解消数（件） （解体・バンク成約・その他の利活用による総合的な解消件数）	空き家の解消が本事業の最大の目的である中で、直近 3 年の平均解消数が約 60 件であり、支援法人、空家等バンクやさかさま不動産の取組でまずは R8 年度にプラス 10 件、さらに R9 年度にプラス 20 件を見込みます。これらにより、市の住環境の整備が進むと考えています。	60	70		80

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り		改善の余地	今後の方向性	
		☐ コスト		
		☐ 活動		
		☐ 成果		
		☐ その他		